

(仮) 再構築ガイドラインについて

2025.3.25

さいたま市 都市局都市計画部 交通政策課

1. (仮)再構築ガイドラインの構成

目次作成イメージ・検討事項

目次（案）

<目次>

- 1 (仮)再構築ガイドラインの概要
 - 1.1 作成の目的・構成
 - 1.2 検討対象地域
 - 2 地域公共交通の再構築の定義
 - 2.1 基本事項
 - ・市民、事業者、行政の役割
 - ・サービス水準
 - ・実施体制 等
 - 2.2 再構築の手段
 - ・ガイドラインで取扱うモード、ルート、頻度、車両サイズ等
 - 3 地域公共交通の再構築の流れ
 - 3.1 再構築の要点
 - ・再構築プロセスの基本的な考え方
 - ・評価指標
 - 3.2 再構築プロセス（検討フロー・期間）
 - ・市民発議（新規導入／運行改善）
 - ・行政発議（運行改善）
 - ・**事業者発議（既存縮小）**
 - **令和6年度バス専門部会で協議開始**
 - 4 (仮)再構築ガイドラインの見直し
- 参考資料
- A-1 ニーズ調査アンケート表（雛形）
 - A-2 交通モード廃止による影響(クロスセクター効果の考え)

検討事項（案）

- 適切な対象地域の設定となっているか
- 各ステークホルダーが果たすべき役割は何か
- ガイドラインで取扱う手段（交通モード、車両サイズ等）は適切であるか
- 評価指標は具体的で妥当なものとなっているか
- 検討フローで示すアクティビティへの対応は可能なものか
- 期間設定の妥当性

引き続き、バス専門部会や協議会において協議を実施していく

市民参画

- 各検討段階において、市民意見の聴取を行う
- 実施方法については、オープンハウスや地域組織・地区社会福祉協議会等へのヒアリングなどによる

2. 前回の振り返り

第1回バス専門部会の主なご意見

項目	頂いたご意見の要旨	対応状況
検討フローについて	<ul style="list-style-type: none"> （特になし） 	—
判断指標について	<ul style="list-style-type: none"> 複数の指標を用いる場合、それぞれ具体的かつ納得のいく基準を定量的に設定できるか疑問がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ご意見を踏まえて判断指標の検討を進めております。
期間について	<ul style="list-style-type: none"> 3年以内の可能性を考慮して全ての路線を出すと、現場の利便性が失われる可能性があるため、悪影響がないよう考慮してほしい。 本格運行まで2年8か月という期間が長すぎるため、計画段階での遅延が実態を悪化させる恐れがある。スピード感が必要ではないか。 路線廃止後の代替手段を検討している間にも、現場には負担がかかり続けることとなり、退職率の増加につながる懸念がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 次頁に反映 原則のスケジュールは定めるものの、様々な事態を想定し例外を許容する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から事業者と行政が意見交換をして関係性を深めておくことも重要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 次頁に反映

参考：第1回バス専門部会提示資料（抜粋）



3. 見直し事項

— 期間（スケジュール）の修正（路線バス廃止により、旅客の利便を阻害する場合）

